



## 知っている？ピオトープ

ピオトープ (Biotop) は、ギリシャ語のBios (生物) とTopos (場所) を語源としたドイツ語で、「生きものの生育場」という意味だよ。

**生きものが生息・生育する場はすべてピオトープ！**

ピオトープと聞くと、人工的に作られた池をイメージする人も多いかもしれないね。本来は、人工、自然を問わず、生きものが生息・生育する場はすべてピオトープなんだ。つまり、池も、森も、川も、海岸も、田んぼも、生きものが生息・生育していれば小さな鉢だってピオトープだよ！



鈴身町



木戸川



三番瀬



カブトムシ



コノネナゴ



コノヤセ



カワセミ



ミヤコドリ



コメノキガニ

## 学校ピオトープ紹介

ふなばし市運動公園の前の千葉県立船橋夏見とくべつえんがっこう 特別支援学校のピオトープは、生徒が車いすでも近づけるんだ。



詳しくは  
がっこう  
学校HP



## 作ってみよう！ピオトープ

誰でもピオトープを作れるんだって。驚きだね。どんな生きものがやってくるかな？

チャレンジしてみよう！



作り方は  
エコジン  
(環境省HP)



問：環境政策課 自然環境係 ☎ 436-2454

## マハゼのひみつ

ハゼのなかまは、日本では400種以上います。なかでも代表的なのがマハゼ。秋が旬で、東京湾では昔からハゼ釣りが楽しまれていました。

浅瀬や河口の底でじっとしている、マハゼのからだのひみつに注目！



からだは、砂のような色ともよう。見つけるのは一苦労！？

上向きについた目で常に上を警戒！

大きな口は、エサを逃さず丸呑み！

からだをささえる胸びれと腹びれ

問：ふなばし三番瀬環境学習館 ☎ 435-7711

## 川の水はどこから？ ～ 船橋市の湧水 ～

雨は地面にしみこんで、地下水になります。地下水は土の中でゆっくりと浄化され、その一部が斜面や湿地、川の中に流れ出ます。これが湧水で、川の水の源となります。海老川の最も上流の金杉地区では、湧水から始まるせせらぎ状の川を見ることができます。湧水地点は、トンボやカエル、それをエサにする鳥類などの生息・生育の場となっています。



海老川の源流 金杉川の風景



金杉川の湧水

問：環境保全課 ☎ 436-2456